

1. 就学前児童調査

問番号		変更内容	理由等
今回	前回		
5	5	「主に母親」「もっぱら母親が行う」「主に母親だが父親も行う」のように選択肢を段階的に変更。	過去に国が実施した調査に倣う。
8-1	8-1	今回の選択肢3～10について追加・変更。	前回調査で「その他」の回答が多かったため。
9	9	「取得していない」「取得するつもりはなかった」「取得しただけできなかった」に細分化。取得できなかった理由の選択肢について、取得するつもりがなかった理由となる項目を削除。	特に父親について、育児休業を取得したかったが、できなかった人がどの程度いたのか実態を把握するため。
削除	9-5	削除	前回調査から、実際より希望が早い方は希望する保育所に入るため、実際より希望が遅い方は入れなかったため、と回答が想定できるため。
9-5	9-6	制度の説明を変更。	法改正のため。
10-1	新設	新設	父母それぞれについて、子どもが何歳まで短時間勤務制度を利用したか(するつもりか)を把握するため。
11	11	希望する教育・保育事業について第1希望と第2希望以下が分かるよう修正。 A群を現在の制度に合わせて修正。	第1希望を把握するため。
11-1	14	幼稚園の預かり保育について、長期休暇中だけでなく、平日、土曜日についても設問を追加。	幼稚園の預かり保育に対するニーズを詳細に把握するため。
12-1	12-1	選択肢を現在の制度に合わせて修正。(問11と同様)	
12-3～6	12-2	現在の利用時間が希望通りか尋ねた上で、希望通りでない人に希望日数・時間、希望と一致しない理由を問うとともに、夜間利用の希望がある人に主な理由を問うかたちに修正。	前回調査で、希望する日数、時間等について、無回答が多かったため。 また、夜間保育ニーズを把握するため。
削除	12-4	削除	前回調査から、幼稚園に通う方は教育のため、保育施設に通う方は、就労しているため、と回答が想定できるため。
削除	12-5	削除	前回調査から、幼稚園に通わせたい方や育休中の方が親がみている、または子どもがまだ小さいため、と回答が想定できるため。
13	13	日曜・祝日に保育を利用したい理由を問う設問を追加。	休日保育ニーズを把握するため。
14-2	15-2	質問文に「実績日数の合計の範囲内で年間利用希望日数をお答えください。」を追加。	前回調査から算出する量の見込みについて、実態との乖離が大きいため。
削除	15-3	削除	前回調査でも多くがそばにいてあげたいという回答であり、子どもが病気の際に何故病児保育を利用しないのかを問うのは区の投げかけとして適切でないため。
削除	15-4、5	削除	量の見込みの算出に利用せず、かつ利用したいと思わないという回答者は21人と少数なため。
15-1～2	16-1	利用したい理由ごとに日数を把握できるよう修正。	私用、リフレッシュ、冠婚葬祭等と不規則の就労、介護・看護等との理由ごとにニーズ量を把握するため。
17～17-3	18～18-3	子育てサロンについての設問・選択肢を削除。 ひろばについて「利用していない」「現在は利用していないが、利用したことがある」「利用したことがない」に細分化。	過去のひろばの利用実績を聞くことで利用率を把握するため。また、子育てサロンをあわせて聞くことで、ひろばニーズが過少に回答される可能性があるため。
18, 20	新設	災害時の対応についての家族での話し合いの有無、災害対策の備えについての設問を新設。	現行計画において防災に関する記載が少ないため。
21	19	妊娠前・中・後期、出産直後と時期を分けて問う設問に修正。	妊娠期中でも時期により変化があると考えられるため。
25	23	選択肢に「子どもの発達・発育」を追加。	心配ごとの内容としてあてはまるため。

問番号		変更内容	理由等
今回	前回		
26, 27	24	問26で日頃関わりがあった悩みを相談できる人について尋ね、問27で相談機関等について認知度、利用の有無を尋ねる設問に修正。	悩みごとの相談先について、親族、友人・知人など日頃関わる方と行政等の相談機関は分けて確認すべきであるため。
削除	26, 27	削除	質問数の圧縮のため。
28	新設	新設	ICTの普及等を受け、情報取得のツールを把握するため。
30	29	選択肢に「親子で過ごせる場所」「父子で過ごせる場所やイベント」を追加。	父親が子どもと一緒にいられる居場所が少ないという意見から、子育て当事者の想いを把握するため。
31	新設	新設	子どもの生活実態調査と比較するため。
32	新設	新設	地域での子ども・子育て支援の担い手としての意向を把握するため。
削除	30, 30-1	削除	就学児童調査の結果で量の見込みを算出するため。
36, 36-1	新設	新設	ダブルケアの実態を把握するため。
削除	34～34-2	削除	質問数の圧縮のため。

「世田谷区子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査 前回調査からの変更点

2. 就学児童調査

問番号		変更内容	理由等
今回	前回		
2,3	新設	新設	子どもが通う学校の種類（公立・私立・国立）と学年を把握するため。
7	5	「主に母親」「もっぱら母親が行う」「主に母親だが父親も行う」のように選択肢を段階的に変更。	就学前と同様。
10-1	8-1	今回の選択肢3～5を前回から追加。	前回調査で「その他」の回答が多かったため。
11	9	「8. 習い事（クラブ活動、音楽教室、学習塾など）」を「8. 習い事（クラブ活動、音楽教室など）」、「9. 学習塾（英語教室も含む）」に細分化。	習い事と学習塾を別に把握するため。
削除	9-2 9-3	削除	前回調査から、現在就労していないとの回答が想定できることに加え、問12-2で民間学童の利用希望を問うこととしたため。
12	10	問11と同様。	習い事と学習塾を別に把握するため。
12-1	9-1 10-1	学童クラブの実績、希望（平日、土曜日、日曜・祝日、長期休暇中）をまとめて聞くように変更。	学童クラブのニーズを詳細に把握するため。
12-2	10-2	前回の学童クラブに加え、民間の学童・放課後預かりサービスを希望する理由を問う設問に修正し、選択肢も変更。	学童クラブと民間の学童・放課後預かりサービスを希望する理由の違いを把握するため（クロス集計で分析予定）。
14-2	12-2	質問文に「実績日数の合計の範囲内で年間利用希望日数をお答えください。」を追加。	就学前と同様。
削除	12-3,4,5	削除	就学前と同様。
17	新規	災害対策の備えについての設問を新設。	就学前と同様。
18 18-1	14 15	一時預かりの利用実績、利用希望ではなく、ファミリー・サポート・センター事業の利用実績、利用希望を問う設問に修正。	ファミリー・サポート・センター事業について、前回調査から算出する量の見込みについて、実態との乖離が大きいため。
21	18	選択肢に「子どもの発達・発育」、「子どもの友人関係」を追加。	心配ごとの内容としてあてはまるため。
22,23	19	問22で日頃関わりがあった悩みを相談できる人について尋ね、問23で相談機関等について認知度、利用の有無を尋ねる設問に修正。	就学前と同様。
削除	21,22	削除	就学前と同様。
25	24	選択肢に「親子で過ごせる場所」「父子で過ごせる場所やイベント」を追加。	就学前と同様。
26	新設	新設	子どもとの関わり方や子どもの自立に対する意識の実態を把握するため。
27	新設	新設	就学前と同様。
28	新設	新設	就学前と同様。
32,32-1	新設	新設	就学前と同様。
削除	28～28-2	削除	就学前と同様。